

図書だより 5月号

2-2 山下
2-3 池田
1-1 大谷



だんだん暑くなってきました。みなさんも熱中症には気をつけてお過ごしください。

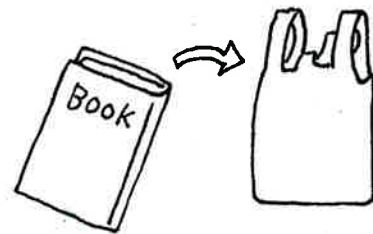
お知らせ

もうすぐ6月となり、これから雨の日も多くなってくると思われます。

本は、雨の日には濡れないように、ビニール袋などに入れて持ってくるようにしてください。

もし、濡れてしまった場合は司書の先生に必ず伝えるようにしてください。

場合によ、ては弁償してもらう可能性があります。



あの夏が飽和する。

カンザキイオリ

「くあらすじ」

今度こそ、大切な人を守りたいー

あの夏、逃避行の果てに、流花は自ら命を絶った。そして十三年後、生き写しの瑠花が現れる。破滅に向かう瑠花と同級生の武命。千尋は、中学時代の十字架を乗り越えて二人を救えるか。

「千尋」、「瑠花」、「武命」の3人の視点で進む物語で、1人の視点を続けて読む読み方も、本の順番通りに読む読み方も、どちらも面白いと思います。私がこの本を読んだ時、登場人物達のすれちがいなど、ハラハラする場面もありましたが、エピソードになると3人にと、ては納得のいく結末になったのではないかと感じました。

カンザキイオリさんは曲も作っているのて、ぜひ曲も聞いて、この本を読んでみてください。

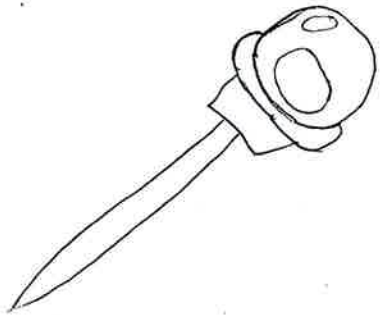


□ グ ホライズン

木登乃まれ

<あらすじ>

昨日まで遊んでいた「ゲームの世界」が今日から「現実」に。突然のことで混乱が続くなか、腹ぐら眼鏡で引きこもり体質の主人公・シロエが旧友である直系、美少女暗殺者であるアカツキらと、世界を変える冒険が始まったが、死人だらけの昔の記憶を失ってしまう。シロエたちは元の世界に戻ることはできるのか…。



<感想>

よくある異世界ものの初めはレベルで弱くてそこから仲間を集めてどんどん強くなっていくというものではなく、シロエたちは初めからレベルがマックスで仲間もある程度いる状態で物語が始まります。ゲームが好きなのや、異世界ものが好きなのは間違いないけど好きだと思わないので、ぜひ読んでみて下さい!!



秘密の花園でお茶を

— 安東 あや —

<あらすじ>

そこは百花繚乱、色とりどりの花が咲き乱れる緑の王国だった。住宅街にひっそりと隠れ家のようにあるカフェ。その庭はまるで「秘密の花園」のよう。道端で気分が悪くなり、同級生に兄の店だと連れてこられた高校一年の滝川英美理は、庭に魅せられ、優しく微笑んで迎えてくれた美青年の店主に、誰にも言えない悩みを打ち明ける。美しい庭の花とあふれる香り、甘いお菓子で訪問客を癒す、目にも心にもやさしい物語。



<感想>

この作品にでてくる花やお菓子を想像してとても癒されました。また、主人公以外の登場人物の視点からかかっている部分があるので、たくさんの心情を知ることができます。もし、ちょっとした悩みがあったり、頑張りすぎている人がいたら、ぜひこの本を読んで癒されてください。きっとあたたかい気持ちになれると思います。